

2013年 11月8日

# 未来への扉

高等特別支援学校 支援部 第52号



## 親の責任、こどもの責任

小6の娘。念願の3DSを手に入れ、とても満足して3DSライフを楽しんでいます。

さて、何も知らない親は、3DSを普通の単なる「ゲーム機」としてしか捉えていませんでした。私の頭での常識の範囲で「保護者の制限」をかけ、安全を期したつもりでした。ところが、実際には「フレンド認証」「メール通信」「すれ違い通信」「いつの間に交換日記」等、見えないところで見えない世界とのつながりが満載。幸いにも家の中ではほぼ純粋にゲームをすることしかできません。が、一歩外に出れば知らない間に知らない人とデータを交換しているし、接続ポイントを見つければ「無料ソフトのダウンロードするから待って〜♪」と超ご機嫌な娘。親としては「何、それ?」「そんなことまでできるの?」「やめて、そんなこと」の連続で、慌てて娘と一緒に説明書を読み直し、ルールを再確認しました。(私のガラパゴス加減も問題といえれば問題ですが…)

ある友人は「こどもにウォークマンを買ってやったら、いつのまにかLINEをやった。腰が抜けそうになった。」と話していました。

こどもは素直に環境に順応します。機械の操作力も高く、あっという間に機械を使いこなしてしまいます。それはそれで凄いことだと思います。ただ、倫理観や判断力、ことサイバー系の犯罪に関する知識が決して充分ではない子どもたちにとって、こういった「便利すぎるアイテム」は、便



利さと同時に大きな危険をも手渡してしまうことになりかねません。

7月4日の毎日新聞に「どうすれば安心安全：LINEの落とし穴 危険な『友達募集サイト』」という記事がありました。

まず、LINEの仕組みをこう解説しています。

\*\*\*\*\*

ネットから無料のLINEアプリをインストールして初期登録すると、スマホの電話帳のデータがLINE社のサーバーに送られる。電話帳の中に、LINE利用者がいればサーバーが自動的に照合し「友だち」として結びつけてくれる。「友だち」になればスマホの画面に名前や写真が表示され、ショートメッセージの応答や音声通話を楽しめる。メッセージは1対1だけでなくグループ内でもやり取りできる。

\*\*\*\*\*

つまり本来、LINEは互いに電話番号を知っている人や登録時に取得できるIDで承認し合った人同士のコミュニケーションが原則のはずであり、不特定多数と繋がってしまう危険性は非常に低いはず。なのに、今世の中を騒がせている様々な事件に、LINEが絡むことが多いのも事実です。なぜなのでしょう。



そもそも登録時に送信される電話帳データ。電話帳の中の友人・知人にとっては、「知らない間に自分の個人情報が流出している」ことになります。また、今は11桁の電話番号の不足から、番号が次々使い回され、全く知らない人が「友だち」として現われてくることも多いそうです。さらに、「使い回される番号には、過去にトラブル等を起こしたようなケースも多く、本来自分とは全く無関係なトラブルに、知らない間に巻き込まれてしまうような場合もあります」とは専門家の話です。

そして、何よりも「危険」と警鐘を鳴らすのは、LINEを使った友達募集サイトの利用だといいます。

\*\*\*\*\*

ID交換サイトとも呼ばれ、赤の他人同士でもIDを交換し合うことで繋がることできる。ネット上に多数のサイト



が開設されているが、いずれもLINE社とは無関係だ。

(中略)「LINEは未知の他人と繋がるためにあるのではなく、知り合い同士がやりとりを楽しむためにある。安全のために、この基本に沿った使い方をすべきです」。ITセキュリティ製品開発会社「トレンドマイクロ」の広報担当、鯖目(さわらめ)順介さんはそう語る。

\*\*\*\*\*

LINEのIDについて、「電話番号やメールアドレスと並び重要な個人情報」と定義した上で、次のような文章がありました。



\*\*\*\*\*

フェイスブックのように他人が見る恐れがある交流サイトには、絶対にLINEのIDを書き込まないことだ。

\*\*\*\*\*

LINEだけでなく、ネット社会がはらむ様々な危険性は、私たちの想像を遙かに超えるところで大きく広がっています。何気ない1回のクリックが、自分や他人の人生を変えてしまうことにもなりかねないということを、まずは大人が理解しないとはいけません。そして、現実的にケータイやスマホを「持たずにすむ」ような社会ではもはやないことも踏まえ、何をこどもに教えなければならないのか、その責任は大人が負うべきだと思います。

制限やガード、ブロックなどといわれる機能は、所詮本人が納得していなければ、何らかの知恵を駆使して外されてしまう可能性も大きいものです。こどもに「責任のある使い方」を求めるために、その前に大人が負わなければならない責任は非常に大きく重く感じます。



11月6日、兵庫県警の方が本校に来られ、生徒たちにネット犯罪の怖さについて話を聞かせてくださいました。保護者の皆さんは、どこまで子どもたちに説明し、理解させ、納得させることができますか。

私はまだまだ自信がありません。まずは、自分自身がしっかりと「知る」ことから始めたいと思います。(聳城)